福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	東急建設株式会社　九州支店
代表者名	執行役員支店長　三嶋　昭
所在地	福岡市博多区祇園町 2-1　シティ１ 7ビル
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	建設業
電話番号	092-282-6110
ホームページ	https://www.tokyu-cnst.co.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	人権を尊重し、個性やチームワークを大切にする企業理念に基づき、人権方針を制定しています。また、健康経営の推進に取組み、従業員の健康保持・増進を促し、生産性や活力の向上を図り、業績と組織価値の向上を目指しています。また、長期経営計画において、「人材」を競争優位の源泉と位置付け、「健康経営の推進」を重要な施策として位置づけています。これらの取り組みにより従業員の福祉向上を目指しています。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：東急建設株式会社　九州支店

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・現状把握・課題分析の結果をもとに、行動計画を策定し女性の活躍を推進 ・「えるぼし」の認定を取得 ・多様な人材が生き生きと働くことができる職場づくりを推進するための研修を実施 ・誰もが職業を通じて社会参加できる障がい者雇用を継続して実施 ・ゼネコン初の2022年PRIDE指標ゴールドを受賞					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・フレックスタイム、時間単位年次休暇、テレワーク勤務を導入し柔軟な勤務体制を導入 ・治療や介護、子育てと仕事の両立、ボランティア活動を支援する制度の導入 ・本支店社屋における服装の自由化 ・勤務間インターバル制度を導入 ・ノー残業デー、ライトダウンデー導入					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・国連が定めた人権に関するグローバル基準「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した人権方針を制定 ・ハラスメント対応方針の制定・周知・啓発 ・定期的な研修の実施 ・社内・社外に相談窓口を設置 ・パンフレット、社内ホームページによる啓発資料の提供 ・国連グローバルコンパクトに加盟					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・健康経営優良法人2023(大規模法人部門)認定取得 ・スポーツエールカンパニー2023認定取得 ・がん対策推進パートナー企業認定 ・心とからだの健康、ハラスメント、介護相談など複数の相談窓口を社内外に設置 ・メンタルヘルス研修の実施 ・生活や睡眠時間を確保する勤務間インターバル制度の導入			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・人材育成マスタープランに基づきOJT、OFF－JT、選抜型研修を組み合わせ自律型人材を育成 ・eラーニングによる自己研鑽プログラムを導入しリスキリング促進 ・カフェテリアプラン、資格取得費用補助等による資格取得支援 ・定着率の向上に向け指導員制度の導入 ・工事現場体験等、学生のキャリア形成機会提供				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・エコファーストの約束で2030年に最終廃棄処分率3%以下と表明し、廃棄物の発生抑制、再資源化推進 ・AIの深層学習による画像解析技術を用いた「廃棄物選別ロボット」の開発などによる3Rの推進、廃棄物適正管理の推進 ・ハンコレスによるペーパーレス化の推進			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、 温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・クール・ウォームビズ、スマートカジュアルの通年実施による冷暖房の使用抑制 ・適正な空調温度設定、昼休み時間帯の消灯 ・再エネ電力、GTL燃料の導入 ・LED照明や省エネ重機の導入 ・ZEBをはじめとする省エネルギービル化の推進							○					○	○					
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・屋上・壁面緑化、植栽、ビオトープの効果を評価する生物多様性簡易評価システムを開発し設計を提案 ・グリーンインフラ実証施設を保有し、このデータを生かした設計を提案 ・環境保全活動への参加を推進 ・全従業員の環境知識・意識向上に向け「eco検定」取得率100%を目指し、2022年度末で86.7%が取得						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員へ節水を呼びかけ節水を推進 ・工事現場から発生する水の再利用の促進						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・ISO9001認証を取得し、全社統合の品質マネジメントシステムQMSを実施 ・安全・品質について検討会・パトロール等を実施し、安全性や品質を確保 ・お客様アンケートによる「お客さまの声」の収集、全社での情報共有による改善を推進			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・東京都市大学指導のもとにエコロジカル・コリドー(生態回廊)を評価するツールを開発 ・九州大学と組織対応型連携契約を締結し、持続可能社会実現に向けた社会課題解決に向けた取り組みを推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報保護規定、個人情報取扱マニュアルを作成 ・情報取扱部署に管理責任者を設置し、個人情報を適正に管理 ・情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティポリシー、情報セキュリティガイドマニュアルを制定し、e-ラーニングを実施して周知																	○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する 体制・仕組みが整備されている。		○		・行動指針・コンプライアンス規範を作成し社内に周知 ・社内外に内部通報窓口を設置し、コンプライアンス違反行為の可能性を早期に発見、是正する体制を整備 ・コンプライアンス責任者・担当者を各部門に設置 ・集合、e-ラーニングによる研修の実施																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・長期経営計画を作成し社内外に発信 ・ステークホルダーに対しホームページ、社内報、経営者による説明会により経営理念、企業VISIONを周知 ・役員が全社員を対象に立場に関係なく率直な話ができる対話の場を設け、経営理念・経営目標の共有化を推進 ・従業員意識調査を実施し、経営理念・目標の浸透度向上を推進								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・BCP計画を作成し、社内イントラネットにその情報共有体制を整えるとともに定期的に事業継続の訓練を実施 ・後継者計画を作成し、人材の資質、客観評価に基づき、後継者候補を審議・選出を実施									○		○		○			○	